

令和元年度 第1回 学校評価アンケート結果

| 羅針盤 | | | 評価 | | | | 現況分析と今後の課題 |
|-------------------------------------|---|---|------------|------------|------------|--|--|
| 評価対象 | 評価項目 | 具体的方策 | 総合 | 生徒 | 保護者 | 教職員 | |
| I 特色ある学校づくりに努めている。 | 1 特色ある教育活動を行っている。 | 1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。 | A 83.9% | B 79.5% | A 90.5% | A 81.7% | 4コース制のもとに進められ、進路目標に合わせて取り組んでいる。真の文武両道を達成するために、運動面・学業面双方の更なる向上を目標に一丸となっている。生徒に対して学校の特色を明確にしていく必要がある。 |
| | 2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。 | 2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。 | A 85.1% | A 82.3% | A 88.8% | A 84.2% | 生徒や保護者、地域のニーズを確実に知るために、学校評価やPTA活動等から積極的に意見を得て、授業や諸行事の連絡の徹底、HPの充実、連絡体制の拡充等、多様な場面に対応することを今後も心掛けていきたい。 |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。 | 3 生徒の実態に応じた指導を行っている。 | 3 学習内容の定着を図るための課題を課している。 | A 84.4% | A 87.3% | A 84.1% | A 81.7% | 今後も少人数制授業やアクティブラーニングの推進、ICT教育への取り組みなど、生徒が意欲的に学習に取り組める方法を模索し、更に強化・実践していきたい。今後は今まで以上に、従来の一方的な授業から脱却し、生徒自らが考え、思考力や表現力の豊かな生徒の育成に取り組むことが課題である。 |
| | 4 生徒は確かな学力を身につけている。 | 4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。 | A 85.5% | A 86.1% | A 82.7% | A 87.8% | |
| | 5 生徒に自主的な学習を喚起している。 | 5 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。 | B 77.6% | A 86.8% | A 87.4% | C 58.5% | 学習環境は整備されており、朝学習や放課後の学習支援などへの評価は生徒・保護者から支持を頂いている。現状、KENDAI OASISや食堂、図書館での学習も盛んである。しかし、生徒の自主学習への取り組みは、生徒自身も保護者も教職員も低い。今後は発展的な自学自習を個々へ促し、取り組む姿勢を育むことが急務である。生徒が能動的に自学自習の習慣を定着できるように、教員のフォローアップが必要であると考えられる。 |
| 6 生徒は積極的に家庭学習や自主学習に取り組んでいる。 | 6 生徒は積極的に家庭学習や自主学習に取り組んでいる。 | C 54.5% | B 70.0% | B 60.6% | D 32.9% | | |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。 | 6 組織的・継続的な指導を行っている。 | 7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。 | A 86.3% | B 76.2% | A 94.8% | A 87.8% | 生徒の生活態度は非常に落ち着いており、問題行動も少なく、生徒はメリハリを付けて学校生活を送っている。また、生徒会が中心となって、スマートフォンの利用ルールを作成するなどの取り組みも行っている。 |
| | 7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。 | 8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。 | A 87.1% | A 87.0% | A 90.2% | A 84.2% | 環境保健部を中心に、生徒の健康管理指導を行っている。また養護教諭2名が連携しながら、生徒のサポートを行っている。生徒の事故や怪我だけでなく、心のケアも含めて対応し、生徒も適切に活用している。 |
| | 8 生徒が安心安全に学校生活を送れるよう指導や配慮ができています。 | 9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。 | A 90.5% | A 88.7% | A 89.0% | A 93.9% | 登下校時の正門前での旗振り指導や駅前のバス指導など、状況に応じて教職員を増員しながら細やかに対応している。自転車事故も軽減されてきたが、更なる交通安全指導を啓発していく必要があると考える。 |
| | 9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。 | 10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。 | A 84.1% | A 81.3% | B 80.8% | A 90.3% | 生徒の悩みや不安に対して、担任、学年、スクールカウンセラーが一体となり、早急に対応している。今後も職員研修などを通して教職員のスキルを高め、生徒対応・生活指導を積極的に実践していきたいと考える。 |
| | 11 生徒が主体的に取り組める学校行事が用意されている。 | 11 生徒が主体的に取り組める学校行事が用意されている。 | A 80.0% | A 80.1% | A 90.4% | B 69.5% | 学校行事は多彩で、学年行事やコース別行事なども多い。しかし現状を維持ではなく、未来志向で生徒の成長を促す行事の設定や見直しを行い、本校らしさが際立つ学校行事を検討していく必要があると考える。 |
| | 12 部活動が活発で充実している。 | 12 部活動が活発で充実している。 | A 95.4% | A 93.7% | A 94.0% | A 90.2% | 運動部、文化部ともに非常に活発で大きな成果を上げている。全国大会に出場している部活動も多く、大変盛んであり、生徒・保護者・教職員の評価も高く、地域への貢献をも非常に大きいと考える。 |
| 13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。 | 13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。 | B 79.5% | B 77.0% | B 72.0% | A 84.1% | 生徒会が中心となり、年2回の「いじめ防止フォーラム」を実施し、生徒間での規範意識を高めている。教職員もいじめ行為に対して毅然と対応し、指導を行っている。今後も生徒・保護者への理解を求めていきたい。 | |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。 | 10 計画的な進路指導を行っている。 | 14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。 | A 83.6% | A 90.4% | A 86.0% | B 74.4% | 土曜講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座など計画的に実施している。生徒はKENDAI OASISを活用し、日々の自学自習に取り組んでいる。各種講座や補習について、さらに充実させるよう検討していきたい。 |
| | 11 適切な進路情報を提供している。 | 15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。 | A 92.4% | A 93.3% | A 90.0% | A 93.9% | 進路講演や高大連携事業、大学の先生による出前授業、職業人講話、大学見学会など進路行事の充実を図っている。1年次より進路を考える機会を多く設け、生徒の進路探究をより促す指導を行いたい。 |
| | 12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。 | 16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。 | A 80.3% | A 82.7% | B 75.4% | A 82.9% | 生徒の進路希望に合わせ、進路相談や小論文指導を細やかに行っている。その成果も、昨年度の進路実績に反映され、確実に向上していると考えられる。今後も生徒の意欲喚起に努め、指導を行いたいと考える。 |
| | 13 資格取得や検定対策を行っている。 | 17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。 | A 84.1% | A 88.0% | A 81.3% | A 82.9% | 英語検定、漢字検定、数学検定、GTECなどの各種検定の受験機会を積極的に設け、事前指導を充実を図っている。今後は合格率の向上に努めたいと考える。 |
| V 開かれた学校づくりに努めている。 | 14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。 | 18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。 | A 83.1% | A 82.4% | A 81.6% | A 85.4% | 昨年度よりもホームページは更新回数も多く、学校行事や部活動結果などタイムリーに発信している。その他の情報公開についても積極的に行っている。今後も地域社会に対して適切な情報を発信できるよう心掛けたい。 |
| | 15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。 | 19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。 | A 80.5% | A 88.2% | B 77.8% | B 75.6% | 昨年までは配布物が保護者まで確実に届かないという懸案があったが、今回のアンケート結果を踏まえると、改善してきたと考える。生徒・保護者の意識向上は勿論、classiなどの活用の成果であると考えられる。 |
| | 20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。 | 20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。 | A 89.3% | — | A 95.6% | A 82.9% | classiも導入から3年目を迎え、生徒・保護者・教職員の意識も大きく変化し、適切で積極的な活用が進められていると考える。今後は、情報通信手段である以上、利用率が100%になるように、努めたいと考える。 |
| | 21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。 | 21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。 | A 83.8% | — | A 85.7% | A 81.8% | 人間探究講座やPTA学年集会、情報交換会などPTAと教職員が連携した活動が充実している。今後も保護者に公開できる学校行事をさらに検討していきたい。 |

備考:

1) 2019年(令和元年)7月実施

2) 有効回答数-生徒829名(56.3%)・保護者1149名(78.1%)・教職員82名(95.3%)